

## 猫に骨付き生肉食を与え始める際

子猫と一部の大人の猫は初めて与えられる健康的な自然食を本能的に認識します。しかし大半の大人の猫は残念なことに、骨付き生肉食を始めて与えられた時、あまり興味を示さない傾向にあり、ちょっとしたおだてが必要になります。

食事の切り替えは、手こずる可能性があり、我々は目の前の課題をちゃんと理解する必要があります。貴方は普段、ドライフードを餌皿に入れる前に袋をシャカシャカさせますか？猫ちゃんが走って来る時、貴方は猫に何て話しかけますか？もしかすると貴方の猫は、24時間餌皿に出しっぱなしのドライフードを食べる時以外は、殆ど動かない子かもしれません。或は猫ちゃんが貴方の足にまとわりついてくることが、貴方に冷蔵庫からあの刺激的な缶詰を出してもらい、よそってもらうための合図になっているかもしれません。

食事を与える際の儀式はそれぞれ違っていても、タイミング、味、食感、見た目、音、そして匂いの全てが一翼を担っています。猫ちゃんは、恐らくこれらの強力な刺激に中毒になっている可能性があり、貴方は世話人として自分に一番合った方法に慣れてしまっているのかもしれませんが、貴方は文字通りその中毒を助長してきたのです。

今一度、貴方のしなやかな猫が低くかがんで鶏のネック（首）、ウズラ、丸ごとの生魚を頬張っている未来を想像してみてください。それが成功の目標地点です（写真とビデオを参照）。貴方の猫が若くて健康なら、切り替えに取り掛かることができます。しかし、貴方の猫が太りすぎたり、歯や健康に問題を抱えている場合は、食生活の変更に乗り出す前に、まず獣医に相談しなければならないかもしれません。

### 切り替えに役立つテクニック

中毒にではなく、猫本人に働きかけてください。24時間、食事を与えないことは最も重要な最初の一步です。或は、一日一回の食習慣、例えば一日一回6PMに与える習慣を始めてください。猫ちゃんの体内時計はまもなく同期し、彼女の生体構造と、生理機能、そして習性が定刻に台所に整列するようになります。

一旦その新しいルーティーンが定着したら、自然食への切り替えを開始することができます。

単独もしくは、組み合わせで使えるいくつかの役立つコツがあります。

お腹がすいている猫は、どんな時も進んで新種の食べ物の匂いを嗅いだり、舐めたりし、あげくには食べてくれる傾向があります。従って、与えている市販の缶詰やドライフードの量を減らしてください。（貴方の猫を24時間以上絶食させたり飢えさせてはいけません。）

貴方の猫に慣れてほしい肉を決めて、例えば鶏なら鶏だけをまずは与えるようにしてください。

貴方の猫が受け入れなければならない二つのことは、生肉の味と食感です。（骨を齧るのはその後になります。）従って、鶏肉を細長く切って餌皿に入れ、市販の餌で覆ってみてください。

それからの数日間は、徐々に市販の餌を減らし、生肉を増やしていきます。

生肉が受け入れられたら、鶏のネックや手羽に差し替えられるまで、肉のサイズを徐々に大きくして行ってください。

フライパンやグリルで肉を少しだけ焼いてみるのもコツの一つです。また、肉に缶詰の汁を混ぜたり、パウダー状にしたドライフードをまぶしてもよいでしょう。

鶏の手羽やドラムスティックの皮に切り込みを入れて、肉の中に缶詰の身を詰めることで、貴方の気まぐれな猫を誘惑できるかもしれません。又は、鶏の手羽に紐を括り付け、じゃらすように狙わせて飛びつかせたりするのもよいかもしれません。

複数の猫を飼っているなら、互いに競争したり学ぶことができるでしょう。

忍耐力がものをいい、通常は10日位で、難しい猫の食生活を切り替えることができます。貴方の猫に、ウズラやウサギ、魚や生後一日のヒヨコ、又は、同様の食べ物を与え始める前に、まずは鶏を食べる名人になってもらうのが一番です。

その後も、一通りの忍耐力とコツが必要になるかもしれません。

---

この記事は、個人使用に限りコピーし配布することができます。

貴方と貴方の大切なペットに最高の健康を祈りつつ。

トム・ロンズデール 2008年1月